



プレスリリース 2013年4月12日発行

バリシップ 2013

過去最大規模にて開催！

240社を超える出展社が日本の海事産業の中心地、愛媛県今治市へ

会期:2013年5月23日(木)~25日(土)

会場:テクスポート今治、旧今治コンピュータカレッジ

主催:UBM ジャパン(株)

特別後援:今治市 今治市海事都市交流委員会

バリシップ開催を通じて日本が誇る「海事都市今治」が日本海事産業界の牽引役に

「今治から日本を元気に!!」を合言葉に開催され、大成功をおさめたバリシップ2011から2年、第3回目の開催となるバリシップ2013は、2013年5月23日-25日の3日間、日本の海事産業の中心地、愛媛県今治市で開催される。今年も日本最大の海事都市である今治市と今治市海事都市交流委員会の全面サポートのもと、過去最多となる240社を超える企業が出展！日本企業をはじめ、韓国、中国、シンガポール、USA、フランス、ドイツ、香港、インド、ノルウェー、パナマ等世界各国からの出展社が今治に集結し、海事産業からの日本復興に向けた熱いメッセージを発信する。

前回のバリシップ2011では、第1回の出展社数179社を大きく上回る216社(国内:181社、海外35社)を集め、来場者数も15,355人(業界関係者:6,473人 一般来場者:8,876人)と前回から1370人増となり、ビジネス関係者にとっても地元市民にとっても、あらためて今治市での開催が魅力的であることを証明した。魅力の一つとして、設計、技術、そして環境関連部署を初めとした今治の現場担当者への展示・デモンストレーションや、地元の船主とのダイレクトなコミュニケーションが挙げられるが、このことは国内出展社のみならず、第1回より大幅に社数を伸ばした海外出展社にとっても今治が効率的かつ有効にビジネス機会を得ることのできる場であることを示した。



バリシップ過去 2 回の出展社数と来場者数

【展示会出展社数】

	バリシップ 2011	バリシップ 2009
国内出展社数	181 社	165 社
海外出展社数	35 社	14 社
合計	216 社	179 社

【展示会来場者数】(来場カウンターで受付けた来場者数)

	バリシップ 2011	バリシップ 2009
会期初日	2,728 人	2,131 人
会期 2 日目	2,914 人	2,734 人
会期 3 日目	837 人(業界関係者)8,876 人(一般来場者)	939 人(業界関係者)8181 人(一般来場者)
3 日間合計	業界関係者:6,473 人 一般来場者:8,876 人	業界関係者:5,804 人 一般来場者:8,181 人
合計	15,355 人	13,985 人

*上記の全ての数字は会場受付にて登録いただいた来場者のデータ数です。

(同じ来場者バッチにて 2 日間以上来場された方はカウント人数に含みません)



海事産業の本格的国際イベントが今治にて開催される理由

1. 今治市に本拠地や拠点を置いている造船会社のグループ全体で国内30%を超える年間建造隻数を占める最大の造船都市であること。
2. 今治市の外航海運業者が日本全体の外交商船隊の30%を超える船舶を所有しており、さらに景気の動向を見ながら船隊を拡大していること。
3. 今治には海事の未来を担う人材の養成機関があり、卒業生の多くが今後の海事産業に携わっていくこと。

バリシップ開催コンセプト

～ビジネスショーと市民参加イベントの融合～

「日本最大の海事産業集積地今治」、「地元密着・市民参加型展示会」

今治市では2005年に愛媛県東予地方の12市町村が合併し新生「今治市」が発足。これにより世界的に活躍する有力企業を含む14の造船所、400社を超える海事関連企業を有する日本随一の海事都市となった。世界的に見てもこれだけの海事関連企業が集積している地域は珍しく、大都市圏以外でビジネストレードショーを行うことのできる稀有な場所といえる。海事都市今治での開催という特性を生かし地元海事産業との密着度の高いイベントを目指すとともに、今治市の掲げる海事都市構想と連動し、日本海事産業界全体のより一層の活性化に向けたイベントとして開催される。

地域密着・市民参加型イベントとしてのバリシップ

また、バリシップは地域密着・市民参加型イベントを重要なコンセプトとして掲げており、その一環として一般公開日を設け、市民が海事産業に触れることのできる場を提供している。過去2回の同展示会では最終日の会期3日目を一般公開日としており、多くの地元企業、出展社の協力のもと日頃見ることのできない造船所、船用機器メーカーの工場見学ツアーや専門家による海洋実験教室、クイズラリー等の特別イベントも多数催され、多くの家族連れ、学生が参加をした。日頃あまり触れる機会のない海事産業に興味を持ってもらうことで、地場産業の活性化、ひいては日本の海事産業に携わる次世代の人材育成を目指している。今年も最終日の5月25日(土)を一般公開日とし、小中学生を対象としたクイズラリー「バリィさんのクイズバリィ～」をはじめ、様々なイベントが開催される。前回までの「海事de クイズラリー」というタイトルを、今回は「ゆるキャラ日本一」の「バリィさん」がクイズを出題する「バリィさんのクイズバリィ～」とし、小中学生を対象にしながら一般来地元今治市民が海事産業に一層興味を持つ



きっかけとなり、楽しめるイベントを目指す。参加者には景品がプレゼントされる。その他にも、ボールペン工房、子供工作教室、ポンポン船レース、缶バッジ製作、操船シミュレータ体験、フィエスペインティングなど、様々な子ども向けのイベントが開催される。

【「バリエさんのクイズバリエ」開催概要】

タイトル:バリエさんのクイズバリエ～

日 時: 5月25日(土)※一般公開日(最終日) 10:00-16:00

主 催: UBM ジャパン(株)

企 画: 今治市海事都市交流委員会

対象者: 小中学生、一般来場者

クイズの問題内容: 海事に関する貴社のPRを兼ねた小学生でもわかる内容

業界関係者必見の併催イベントの数々

バリシップ国際会議2013

日本の海事産業をリードする講師陣が、船主、造船、そして舶用機器メーカー、それぞれの視点から、日本海事産業の将来像に関してパネルディスカッションを展開。日本市場の最新状況、法規制、技術革新といったテーマを通じ、日本海事産業復活のための航海図を描く。

【バリシップ国際会議2013 開催概要】

主 催: 今治市海事都市交流委員会、(株)海事プレス社、UBMジャパン(株)

日 時: 2013年5月23日(木)、24日(金)

場 所: 今治国際ホテル2F・クリスタルホール

受講費用: 有料/事前申込制 30,000円(税込) *2日間通しの料金です。

定 員: 300名(定員になり次第、受付終了)

プログラム:

5月23日(木)

13:10～ 開幕挨拶 今治市長 菅良二氏

13:15-14:15 基調講演"展望 2030年の海運" 川崎汽船株式会社 取締役会長 前川 弘幸氏

14:30-16:00 造船パネルディスカッション"造船ニッポンの未来"(仮題)

《パネリスト》

株式会社新来島どつく 代表取締役社長 門田 尚氏

尾道造船株式会社 代表取締役社長 中部 隆氏



社団法人日本中小型造船工業会 会長 檜垣 清隆 氏
今治造船株式会社 代表取締役社長 檜垣 幸人 氏
株式会社大島造船所 代表取締役社長 南 浩史 氏
《司会》伊藤忠商事株式会社 船舶海洋部長 佐藤 浩 氏

5月24日(金)

9:00-10:00 特別講演 "世界に誇る愛媛の海事産業のよきパートナーを目指して"

株式会社伊予銀行 代表取締役会長 森田 浩治

10:00-11:00 特別講演 トヨタ自動車株式会社 代表取締役副会長 内山田 竹志 氏

13:15-14:45 船用メーカーパネルディスカッション "船用工業の成長戦略"

《パネリスト》

国土交通省 海事局船舶産業課長 今出 秀則 氏

渦潮電機株式会社 代表取締役社長 小田 雅人 氏

日本郵船株式会社 常務経営委員 田中 康夫 氏

株式会社シンコー 取締役社長 筒井 幹治 氏

大洋電機株式会社 代表取締役社長 山田 信三 氏

《司会》一般財団法人日本海事協会 副会長 富士原 康一 氏

15:00-16:30 船主パネルディスカッション "船主 グローバル競争を勝ち抜く新戦略"

《パネリスト》

日鮮海運株式会社 代表取締役社長 阿部 克也 氏

春山海運株式会社 代表取締役社長 今岡 次郎 氏

洞雲汽船株式会社 代表取締役社長 大河内 源二 氏

瀬野汽船株式会社 代表取締役社長 瀬野 洋一郎 氏

双輝汽船株式会社 代表取締役社長 藤澤 敏朗 氏

《司会》アンカー・シップ・パートナーズ株式会社 代表取締役社長 辻 肇 氏

受講料無料！海事関係者対象の特別セミナーと今治地区海運組合講演会

【特別セミナー】 * 事前登録制、ホームページで登録受付中

5月23日(木)

一般社団法人日本海運集会所 セミナー

14:30-15:15 シェールガス、シェールオイルなど最新の資源需要の動向と海運への影響(仮題)

株式会社資源・食糧問題研究所 代表取締役(元丸紅経済研究所所長) 柴田 明夫 氏



15:45-16:30 21世紀を漂流する日本の海運市場 ―市況暴落の背景と今後の課題―
有限会社トランプデータサービス 代表取締役 海老原 謙治 氏

5月24日(金)

独立行政法人海上技術安全研究所 セミナー

10:30-11:10 鉱物資源を海底に求める 東京大学生産技術研究所 教授 浦 環 氏

11:20-11:50 船舶の動力システムの環境問題と将来展望

独立行政法人海上技術安全研究所 研究統括主幹 千田 哲也 氏

12:00-12:30 海難事故解析技術の高度化・設計への反映

独立行政法人海上技術安全研究所 海難事故解析センター センター長 田村 兼吉 氏

一般財団法人日本海事協会 セミナー

12:00-12:30 海上労働条約(MLC,2006)の発効と本会の認証サービスについて

一般財団法人日本海事協会 安全管理システム部 技師 斎藤 直樹 氏

15:10-16:00 GHG排出削減に関するMARPOL条約発効と本会技術サービスについて

一般財団法人日本海事協会 EEDI室 主管 三宅 竜二 氏

【今治地区海運組合 講演会】 * 事前登録不要、当日直接会場で受付

5月24日(金)

16:00-17:00 内航海運の役割と今後の課題 日本内航海運組合総連合会 理事長 影山 幹雄 氏

展示会への無料来場者事前登録及び

セミナーへの事前登録はホームページで受付中

展示会場へのご来場は、インターネットによる簡単な来場者事前登録又はご招待券のご持参で無料となる。来場事前登録者はセミナーへの登録もホームページで行うことができる。

▼▼ バリシップ ホームページ ▼▼

www.bariship.com

無料招待券のお問い合わせ先

バリシップ運営事務局 TEL:03-5296-1020 Email:info@bariship.com



【バリシップ 2013 開催概要】

名 称 : バリシップ 2013 BARI-SHIP - IMABARI MARITIME FAIR
イベント内容 : 展示会、国際会議、特別セミナー、出展社プレゼンテーション
日 程 : 2013年5月23日(木)～25日(土) ※25日(土)は一般公開日
開催時間 : 10:00-17:00
会 場 : テクスポート今治、旧今治コンピュータカレッジ (愛媛県今治市)
主 催 : UBM ジャパン(株)
特別後援 : 今治市 今治市海事都市交流委員会
後 援 : 国土交通省、一般社団法人日本船主協会、一般社団法人日本造船工業会、
日本船舶輸出組合、一般社団法人日本船用工業会、
一般社団法人日本中小型造船工業会、一般財団法人日本海事協会、
日本内航海運組合総連合会、一般社団法人日本船舶電装協会、
一般社団法人日本船用機関整備協会、公益社団法人日本船舶海洋工学会
来場者数(見込み) : 16,000人 (業界関係者 6,500人)
出展社数 : 240社以上

出品品目／サービス :

造船／船舶修理／船用工業製品(軸系及びプロペラ、係船・荷役機械、船用ボイラー、冷凍機・空調装置、発電機・電動機公害防止機器・環境保護、塗料・塗装機器、安全設備・防火設備、ディーゼル機関及び推進装置、ディーゼル機関の部分品・付属品、配電盤・起動器・制御器、電気器具、熱交換機、油圧機器、油処理装置、空気機械、ポンプ、船用タービン、弁・管継手、計器類、船用燃料・潤滑油、操舵・操船装置、錨・錨鎖・ロープ、居住設備、航海計器・通信機器・電波計器、コンピューターシステム及びソフトウェア)／港湾局・港湾管理者／港湾設備・港湾サービス／シップエージェンシー／船用組織・団体／船級協会／商社／出版／他海事製品・サービス全般



【展示会に関するお問い合わせ】

バリシップ運営事務局／UBM ジャパン株式会社

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-8-3 神田 91ビル

TEL:03-5296-1020 FAX:03-5296-1018 Email:info@bariship.com

www.bariship.com